

本資料は2019年11月19日付で技術諮問委員会より提出された報告書に対して、NRRC所長より出した返信レターを参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。正式な報告書は英文版の原文のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター  
一般財団法人 電力中央研究所  
〒100-8126 東京都千代田区大手町1-6-1

ジョージ・アポストラキス  
NRRC所長

2019年12月29日

ジョンW. ステットカー氏  
技術諮問委員会委員長

件名： 2019年11月19日付報告書「ROP実施に向けた電力業界の準備体制を支援する枠組みと基盤について」

ステットカー委員長

ROP支援を含む諸活動や、その他のリスク情報活用の手続きと計画の実施に向けた電力業界のアクションプランについての議論に感謝申し上げます。

技術諮問委員会の報告書では、次回の技術諮問委員会で、電力業界のROP実施準備体制に関して責任を担う組織からの説明、特に、指摘事項のリスク重要度の評価尺度及びその基準、計画されているリスク判定プロセスを含め、日本のROPにおけるリスク情報を活用した諸要素についての詳細な説明が要請されている。

我々は、技術諮問委員会からの要請を受け、次回TAC会議で議論を行えるよう準備する。

敬 具

ジョージ・アポストラキス（本人署名）